

### 1 自己評価及び外部評価結果

**【事業所概要(事業所記入)】**

|         |                |            |            |
|---------|----------------|------------|------------|
| 事業所番号   | 3290400427     |            |            |
| 法人名     | みなとの丘グループ株式会社  |            |            |
| 事業所名    | グループホーム風の丘 1F  |            |            |
| 所在地     | 島根県出雲市小津町23番地1 |            |            |
| 自己評価作成日 | 平成30年1月11日     | 評価結果市町村受理日 | 平成30年5月17日 |

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

|          |   |
|----------|---|
| 基本情報リンク先 | <a href="http://www.kaignkensaku.mhlw.go.jp/">http://www.kaignkensaku.mhlw.go.jp/</a> |
|----------|---|

**【評価機関概要(評価機関記入)】**

|       |              |
|-------|--------------|
| 評価機関名 | 株式会社ワイエム     |
| 所在地   | 島根県出雲市今市町650 |
| 訪問調査日 | 平成30年3月23日   |

**【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】**

職員間で情報共有を行いながら、日々の気づきを大切に、職員間のミーティングを行うようにしている。また、入居者様、ご家族様の声を汲み取りながら、1人1人の利用者様とのコミュニケーションや、ご家族様と連携を図り、それぞれの希望に沿える様に関わり、ケアを行っている。1人1人の利用者様が、第二の住み家として頂ける様に、今までの暮らしになるべく沿える環境づくり、思い入れのある品物、写真など、好きだったこと、好きだったものを家族様の協力のもと、持ってきて頂いたり、日々の生活で取り入れる様に努めています。また1日の生活にメリハリを付けながら、ご自分のスタイルで生活して頂くと同時に、他利用者様との関わり、地域との関わり、体操等を取り入れながら過ごして頂いている。医療面では、以前からのかかりつけ医に診ていただける様依頼し、馴染みの環境での受診。職員での支援、ご家族様との連携を図りながら、安心して受診して頂いている。

**【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】**

小津町あたりには、福祉施設がなかったことから、住民の強い要望から設立された同法人は、海に向かう県道脇の山を切り開き、通所サービス、居宅支援事業所、小規模多機能型居宅事業所など、地域に密着した福祉施設を次々に開設している。グループホーム風の丘は、満5年を迎えようとしており、新しい管理者のもと、一階、二階とも、利用者さんは、それぞれの居場所でゆったりとくつろいで過ごし、職員は、毎日を楽しみ、満足のいくように過ごせるよう、レクリエーションや外出、行事など様々に工夫している。窓からは、自然が眺められ、施設内は清潔で明るく、職員は親切で優しく、笑顔で話しかけている。

**V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します**

| 項目 |  | 取り組みの成果<br>↓該当するものに○印  | 項目 |   | 取り組みの成果<br>↓該当するものに○印  |
|----|--|--|----|---|--|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる<br>(参考項目:23,24,25)     | <input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者の<br><input type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらいが<br><input checked="" type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらいが<br><input type="radio"/> 4. ほとんど掴んでいない | 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている<br>(参考項目:9,10,19) | <input type="radio"/> 1. ほぼ全ての家族と<br><input type="radio"/> 2. 家族の2/3くらいと<br><input checked="" type="radio"/> 3. 家族の1/3くらいと<br><input type="radio"/> 4. ほとんどできていない    |
| 57 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある<br>(参考項目:18,38)           | <input checked="" type="radio"/> 1. 毎日ある<br><input type="radio"/> 2. 数日に1回程度ある<br><input type="radio"/> 3. たまにある<br><input type="radio"/> 4. ほとんどない                  | 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている<br>(参考項目:2,20)                   | <input type="radio"/> 1. ほぼ毎日のように<br><input checked="" type="radio"/> 2. 数日に1回程度<br><input type="radio"/> 3. たまに<br><input type="radio"/> 4. ほとんどない                  |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている<br>(参考項目:38)                 | <input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が<br><input type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらいが<br><input type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらいが<br><input type="radio"/> 4. ほとんどいない               | 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている<br>(参考項目:4) | <input type="radio"/> 1. 大いに増えている<br><input checked="" type="radio"/> 2. 少しずつ増えている<br><input type="radio"/> 3. あまり増えていない<br><input type="radio"/> 4. 全くいない           |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている<br>(参考項目:36,37)  | <input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が<br><input type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらいが<br><input checked="" type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらいが<br><input type="radio"/> 4. ほとんどいない    | 66 | 職員は、生き活きと働けている<br>(参考項目:11,12)                                    | <input type="radio"/> 1. ほぼ全ての職員が<br><input type="radio"/> 2. 職員の2/3くらいが<br><input checked="" type="radio"/> 3. 職員の1/3くらいが<br><input type="radio"/> 4. ほとんどいない       |
| 60 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている<br>(参考項目:49)                | <input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が<br><input type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらいが<br><input checked="" type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらいが<br><input type="radio"/> 4. ほとんどいない    | 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う                                     | <input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が<br><input type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらいが<br><input checked="" type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらいが<br><input type="radio"/> 4. ほとんどいない    |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている<br>(参考項目:30,31)       | <input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が<br><input checked="" type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらいが<br><input type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらいが<br><input type="radio"/> 4. ほとんどいない    | 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う                                 | <input type="radio"/> 1. ほぼ全ての家族等が<br><input type="radio"/> 2. 家族等の2/3くらいが<br><input checked="" type="radio"/> 3. 家族等の1/3くらいが<br><input type="radio"/> 4. ほとんどできていない |
| 62 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている<br>(参考項目:28) | <input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が<br><input type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらいが<br><input checked="" type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらいが<br><input type="radio"/> 4. ほとんどいない    |    |   |  |

# 自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー) + (Enterキー) です。]

| 自己                 | 外部  | 項目  | 自己評価  | 外部評価  |                   |
|--------------------|-----|---|---|---|-------------------|
|                    |     |   | 実践状況  | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| <b>I. 理念に基づく運営</b> |     |   |   |   |                   |
| 1                  | (1) | ○理念の共有と実践<br>地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている                            | 理念は事務所と玄関に提示し職員は同じ思いで実践している。情報を共有しながら意見交換を行いその方に1番合った支援を行うようにしている。                                    | 職員の思いで作られた理念「尊重し穏やかな生活を彩れる支援」は、御本人を思う御家族にとっても、意義のあることとして、職員が感じ、明るく楽しい生活を送れるよう取り組んでいる。                             |                   |
| 2                  | (2) | ○事業所と地域とのつきあい<br>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している                            | 地域のボランティアの方との交流、地域での行事への参加、計画を立てながら地域との交流を図っている。地域の方との交流を図った際は写真撮影を行い、その後の話題や出来事を思い出すきっかけとなるよう期待している。 | 近隣地域からの入居が多く、隣接するデイサービスや、小規模多機能型事業所などとの交流も期待できる。ドライブや買い物、散歩など、出かける機会も設け、地域との付き合いもしている。                            |                   |
| 3                  |     | ○事業所の力を活かした地域貢献<br>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている                          | 2か月に1回運営会議を開催し、ご家族様、地域の方の参加のもと、実践内容等を報告している。また、質問、意見をもとにサービス向上に生かしている。                                |   |                   |
| 4                  | (3) | ○運営推進会議を活かした取り組み<br>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている       | 実践を通じて認知症の人の理解や支援方法を積み上げてきている。認知症ひかりカフェを通じて少しずつ地域の人々へ発信している。  | 会議では、介護についての関心が高く、認知症や高齢者の病気などについて意見が出ている。また、食事のことやレクリエーションについても提案があり、ホームとして、取り入れている。                             |                   |
| 5                  | (4) | ○市町村との連携<br>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる                  | 運営推進会議の際に市の方にも参加していただき実践内容を報告し、意見を伺いサービス向上に取り組んでいる。また、困った事等あれば市の方へ連絡し、教えていただいている。                     | 経済的に困難な方や、家族の諸事情で市外の施設を利用している方などの適切な入居について、市の担当職員と相談するなどしている。   |                   |
| 6                  | (5) | ○身体拘束をしないケアの実践<br>代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 拘束をしないケアに関するために、どうしたら良いのかを考えながら、不穏、帰宅願望等ある方への対応を職員で協力して行っている。個々の意識をしっかりと持ち、情報の共有を行いながら声を掛け合っている。      | 利用者さんは、それぞれ認知症の状態も異なり、自分にとっては意味のある行動であるが、判断力が低下しているため、交通事故や、怪我などにつながることもあるので、施錠はしないが、常に見守りを継続するなど拘束の無いケアに取り組んでいる。 |                   |
| 7                  |     | ○虐待の防止の徹底<br>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている       | 勉強不足の所もあるが、職員が意識しながら防止に努めている。声かけ1つにおいても職員同士指摘し合えるよう注意を払っていききたい。                                       |   |                   |

| 自己 | 外部  | 項目   | 自己評価  | 外部評価  |                   |
|----|-----|--|---|---|-------------------|
|    |     |  | 実践状況  | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 8  |     | ○権利擁護に関する制度の理解と活用<br>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している    | 外部から講師を招き、研修を行ったが、まだ理解しきれていない所もあり、再度研修にて学びたいと思っている。   |   |                   |
| 9  |     | ○契約に関する説明と納得<br>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている                         | 入居時の契約の締結時には十分な説明を行い、理解、納得をしていただいている。不明な点やご家族の不安においても都度対応させていただいている。密に連絡を取り、職員にも声をかけやすい雰囲気を作っている。         |   |                   |
| 10 | (6) | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映<br>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている                     | 電話連絡時や面会時にご要望がないか伺ったり、ケアプラン更新時にはご利用者様、ご家族様の意向や思いを伺いながら、日々のケアや運営に反映している。                                   | 御家族は、利用者さんの生活をよりよいものにしたと、様々な意見を言われる。おいしい旬の物を食事として差し入れたり、清潔な施設や部屋なども希望しておられ、職員はそれらを実現するためとりにくんでいる。 |                   |
| 11 | (7) | ○運営に関する職員意見の反映<br>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている                                      | 運営に関することは代表者で決定され、職員には決定事項として伝達している。実践してみてもうまいかなところは現場の意見として持ち上げ再度検討を行っている。職員個々の意見を大切にしながら反映できるよう努めていきたい。 | 利用者さんが、楽しく快適な生活を送れるように、職員は常に、様々な意見を述べて、検討している。管理者は、職員一人一人と面談して、意見や思いを聞き取る機会を設けている。                |                   |
| 12 |     | ○就業環境の整備<br>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている      | 利用者様が笑顔になられたり変化を感じることでやりがいを感じる職員が多い。職員間で利用者様に喜んでもらえるよう向上心を持って働いている。給与水準は低いと感じる職員もいるが、残業なく有給も取りやすい状態にある。   |   |                   |
| 13 |     | ○職員を育てる取り組み<br>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている         | みなとグループの研修委員会ができ、委員会を中心に3施設合同研修を行った。また、興味のある研修棟個々に少しずつスキルアップを行っている。                                       |   |                   |
| 14 |     | ○同業者との交流を通じた向上<br>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | グループ会社とは、合同研修会を通して交流している職員もいるが、多くない。他施設との交流、情報交換、見学等できるとよい。他施設見学等計画している。                                  |   |                   |

| 自己                           | 外部  | 項目   | 自己評価  | 外部評価  |                   |
|------------------------------|-----|--|---|---|-------------------|
|                              |     |  | 実践状況  | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| <b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b> |     |  |   |   |                   |
| 15                           |     | ○初期に築く本人との信頼関係<br>サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | まず情報提供をもとに本人のことを理解し、日々のかかわりを大切にするよう努めている。その中でご本人にとってどうしたら良いのかを考えながら情報を共有している。ご本人様としっかり向き合い耳を傾けながら会話を通して信頼関係を築けるよう努めている。 |   |                   |
| 16                           |     | ○初期に築く家族等との信頼関係<br>サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている            | 面会時に様子を伝えたり、情報交換を行う。また、ご家族に来てよかった・また来ようと思って頂ける雰囲気を作り職員が明るく、親しみを持っていただけるよう指導している。  |   |                   |
| 17                           |     | ○初期対応の見極めと支援<br>サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている        | 家族が必要としているケアをプランに取り入れ、情報収集にて本人に必要なケアを取り入れるようにしている。ケアマネージャーを中心に何が一番必要か職員で検討する。   |   |                   |
| 18                           |     | ○本人と共に過ごし支えあう関係<br>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている                        | 自立支援の視点で、なるべく見守りの中で安全に行い出来かねるところは支援するようにしている。暮らしを共にさせていただけるよう努力しているが、まだ不十分だと感じている。                                      |   |                   |
| 19                           |     | ○本人を共に支えあう家族との関係<br>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている         | 連絡等欠かさず報告、相談を行っている。ご家族の意向もうかがいながら本人様を支援している。  |   |                   |
| 20                           | (8) | ○馴染みの人や場との関係継続の支援<br>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている                     | ご家族からの情報をもとに、馴染みの人や場所を会話の中に取り入れるようにしている。面会時にはゆっくり居室等で過ごしていただけるようにしている。  | 地域の要望から生まれた事業所であり、入居者も近隣の方が多い。日常的な外出や、訪れる地域の人々との交流などで、馴染みの場や人との関係は継続している。 |                   |
| 21                           |     | ○利用者同士の関係の支援<br>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている                  | 日々の会話、お茶の時間、レクリエーション等を通して利用者同士のかかわりを大切にし、皆様と一緒に過ごすひと時を作るよう努めている。  |   |                   |

| 自己                                 | 外部   | 項目   | 自己評価   | 外部評価  |                   |
|------------------------------------|------|--|--|---|-------------------|
|                                    |      |  | 実践状況   | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 22                                 |      | ○関係を断ち切らない取組み<br>サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている                    | 契約が終了しても、お見舞いに伺ったりご家族様への声掛けを行っている。   |   |                   |
| <b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b> |      |  |  |   |                   |
| 23                                 | (9)  | ○思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している   | ひとりひとりの些細な声を大切にしている。できるだけ希望に沿えるよう努めている。  | 認知症の方の思いを引き出すのは難しいときもあるが、その方の生きてきた物語を聞き取ったり、ご家族からその方の好みや意向を聞き取ったりして、思いや意向を把握している。 |                   |
| 24                                 |      | ○これまでの暮らしの把握<br>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている                                       | 家族様の面会時などに情報を得よう信頼関係を築いている。  |   |                   |
| 25                                 |      | ○暮らしの現状の把握<br>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている   | ひとりひとりのペースでその人に合った1日を過ごしていただいている。穏やかにゆったり、時にメリハリを入れながら無理なく過ごしていただけるよう、また、申し送り、記録にて心身状態の把握を行っている。 |   |                   |
| 26                                 | (10) | ○チームでつくる介護計画とモニタリング<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | 職員の気づきを大切に、日々情報共有を行いながら課題とケアを考えている。家族面会時や電話にて意向を伺いながら、本人に合った本人様らしい生活ができるよう介護計画書を作成している。          | 介護計画担当者による、家族、本人の意向を踏まえた介護計画は、ユニットの職員全員で検討して個別に作られており、状況の変化に応じて見直し変更がされている。       |                   |
| 27                                 |      | ○個別の記録と実践への反映<br>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている                        | 日々の記録、情報共有、気づき等記録できている。ケアプランに基づいた記録になっているとは言えない。現在記録の方法の変更を行っている。毎月モニタリングを行い、見直しをしている。           |   |                   |
| 28                                 |      | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化<br>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる               | 本人や家族と話し合い、要望に応じた支援に取り組んでいる。病院への送迎、付き添い等個別のニーズに対応している。   |   |                   |

| 自己 | 外部   | 項目  | 自己評価  | 外部評価  |                   |
|----|------|---|---|---|-------------------|
|    |      |   | 実践状況  | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 29 |      | ○地域資源との協働<br>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している                                      | 事業所付近にある海、風車公園などに出かけたり、施設の同地域の行事参加、交流にて楽しんで頂けるよう支援している。             |   |                   |
| 30 | (11) | ○かかりつけ医の受診支援<br>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している                                  | 古くからのかかりつけ医を利用することで、本人、家族が安心して医療を受けられるよう支援している。                     | 地域におけるかかりつけ医に継続して受診できることは、自ら症状を表現できない認知症の高齢者さんにとっては、早期発見早期治療につながる。受診には必ず職員が同席して、日常の様子を医師に伝えるとともに、医師から医療面での気をつけことなどを伺っている。 |                   |
| 31 |      | ○看護職との協働<br>介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している                          | 隣接の小規模多機能の看護師に必要な応じて対応して頂いたり、指示を仰いでいる。                              |   |                   |
| 32 |      | ○入退院時の医療機関との協働<br>利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 退院時必要な情報を病院から聞き、施設に戻ってからも安心して生活していただけるよう関係づくりをしている。                 |   |                   |
| 33 | (12) | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援<br>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる  | 終末期に向けて、家族様に随時希望を確認し、施設でできること、出来ないことを伝え、ご本人様に一番良いと思われる方法について話をしている。 | 利用者さんのかかりつけ医の協力や、隣接する事業所にいる看護師との連携を密にして、重度化にも適切に医療につなげるよう取り組んでいる。看取りについても、何度も関係者と話し合っ、適切な対応に心がけている。                       |                   |
| 34 |      | ○急変や事故発生時の備え<br>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている  | 急変時には協力して動けるよう日々シュミレーションを行っている。消防署での研修等参加しているが定期的な訓練は行っていない。        |   |                   |
| 35 | (13) | ○災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている  | 避難訓練を行い、安全に避難できるよう努めている。また、訓練の際は地域に伝え、災害時の協力をお願いしている。               | 利用者さん参加の避難訓練を年に二回は行い、また、夜間想定のものも実施しており、法人全体で災害に対しての備えを行っている。  |                   |

| 自己                               | 外部   | 項目  | 自己評価  | 外部評価   |                   |
|----------------------------------|------|---|---|--|-------------------|
|                                  |      |   | 実践状況  | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| <b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b> |      |   |   |  |                   |
| 36                               | (14) | ○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保<br>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている                    | ひとりひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない声掛けや対応を心がけている。また、その方に合ったかかわり方で対応している。   | 利用者さんは、それぞれに似合う着こなしで、落ち着いた雰囲気でご過ごしておられる。職員さんの声かけや親切で優しい態度は、一人一人を尊重している。  |                   |
| 37                               |      | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援<br>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている                      | まずはご本人に自由に活動していただいて出来かねるところは支援するようにしている。ご本人の希望や思いを尊重するよう努めている。  |  |                   |
| 38                               |      | ○日々のその人らしい暮らし<br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 日によって入浴等職員の都合で行っていることもある。ご本人のペースを大切にし、その方の生活リズムに職員が合わせていくよう声をかけあっている。   |  |                   |
| 39                               |      | ○身だしなみやおしゃれの支援<br>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している                                   | 身だしなみには声掛けを行いながら整容の働き掛けを行っている。出来かねるところはお手伝いさせていただいている。その日の服など選んでいただくなどの支援を行っている。適宜訪問カットに来ていただき散髪もされる。         |  |                   |
| 40                               | (15) | ○食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている       | 食事の準備ができる方は少ないが、野菜を切ったり下膳、食器洗いは進んで手伝ってくださる方が多い。   | 利用者さん家族から、差し入れ野菜や惣菜もあるという。皆でテーブルを囲んで和やかに食事を共にした。味付けも出汁がきいた薄味で、野菜も豊富であった。 |                   |
| 41                               |      | ○栄養摂取や水分確保の支援<br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている           | 副食は宅配業者に委託している。個別に刻み、トロミ等を使用し、提供している。主食、みそ汁は施設で作り、皆様が食べやすいよう個別に硬さ、大きさを伺いながら工夫している。水分量も記録し、水分不足とならないよう気をつけている。 |  |                   |
| 42                               |      | ○口腔内の清潔保持<br>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている                    | ご本人でできる方は行っていただき、難しい方については一緒に行うよう心掛けている。  |  |                   |

| 自己 | 外部   | 項目   | 自己評価  | 外部評価  |                   |
|----|------|--|---|---|-------------------|
|    |      |  | 実践状況  | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 43 | (16) | ○排泄の自立支援<br>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている                             | ひとりひとりの排泄の様子を把握し、パットの汚染を少なく清潔に排泄を行っていただけるよう支援している。                | 利用者さんのほとんどが、失禁をされるが、それぞれの排泄パターンを把握しており、さり気なくトイレに誘うことで、自然な排泄ができるよう介助している。トイレは清潔で、尿臭などもしない。               |                   |
| 44 |      | ○便秘の予防と対応<br>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる   | 体操、運動を行っていただき、水分摂取にも注意しながら便秘にならないよう努めている。また、便秘薬の調整について主治医と連携している。 |   |                   |
| 45 | (17) | ○入浴を楽しむことができる支援<br>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている                       | 入浴時間については一人ひとりの希望になるべく合わせるようにしている。曜日、時間帯については職員の都合で行っていることが多い。    | 浴室は明るく清潔で、利用者さんは入浴を保清のためだけでなく、リラックスした、楽しい時間として、職員の援助を受けている。   |                   |
| 46 |      | ○安眠や休息の支援<br>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している  | なるべく日中に活動し、夜間や住んで頂けるようリズムを整えている。昼も、体調に応じて休んで頂くようにしている。            |   |                   |
| 47 |      | ○服薬支援<br>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている   | 処方された薬の作用・効果を写真と照らし合わせ、個人のファイルへ綴じ、職員が共有できるようにしている。                |   |                   |
| 48 |      | ○役割、楽しみごとの支援<br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている                            | 家事、レクリエーション等その人の力を把握し、楽しく生きがいを持って生活していただくよう努めている。                 |   |                   |
| 49 | (18) | ○日常的な外出支援<br>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している | 季節ごとに、ドライブに出かけたり、話の中で希望があればすぐに対応し出掛けられるよう支援している。                  | ホームから民家のある町までは、数百メートルあって、歩いて町には出かけられないが、ホーム周辺の散歩や車で外出など日常的に外出しており、ホームに閉じこもらない暮らしとなっている。海辺での花見の計画も進んでいる。 |                   |

| 自己 | 外部   | 項目   | 自己評価   | 外部評価  |                   |
|----|------|--|--|---|-------------------|
|    |      |  | 実践状況   | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 50 |      | ○お金の所持や使うことの支援<br>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している  | お金は施設で預らせていただき、必要時に買い物をしているがご本人様に持っていたくことはほとんどない。                                  |   |                   |
| 51 |      | ○電話や手紙の支援<br>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている   | 何人かの方は、家族様と手紙のやり取りや電話で話をされる。そうでない方は、施設での様子、写真等を送って様子がわかるようにしている。                   |   |                   |
| 52 | (19) | ○居心地のよい共用空間づくり<br>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 皆さんで作った作品を壁に張ったり居室前に季節の飾りを張る等工夫している。   | 窓から自然の緑が見渡せるホールは明るく清潔であり、オープンキッチンで湯茶や料理が出来る家庭的な雰囲気である。ソファやテーブルなど居心地良く過ごせるよう配置している。                  |                   |
| 53 |      | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり<br>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている  | 入居者同士でお話したり、体調の変化やひとりになりたいときに声掛けをして自由に過ごしていただく等工夫している。                             |   |                   |
| 54 | (20) | ○居心地よく過ごせる居室の配慮<br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている  | ご本人の愛着のある家具や道具を持参していただき使って頂いたり、ご家族様・親族の方、地域の方の面会時に一緒に写真を撮らせて頂き、居室の見えるところに張ったりしている。 | 個室は、窓から自然の風景が眺められ、明るく清潔である。利用者さんはそれぞれにプライベートな空間を居心地良く過ごせるようにと、家具や椅子ソファ、テレビなどをしつらえており、壁には写真や絵が飾ってある。 |                   |
| 55 |      | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり<br>建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している   | ひとりひとりの方のできることを見極め、安全に配慮しながらもできることを行って頂くよう支援している。                                  |   |                   |